



(熊本日日新聞、平成16年4月30日)

岩岡中正教授

献呈のことば

平成二五年三月三十一日をもって、岩岡中正教授は熊本大学法学部を定年退職されることになりました。先生は、長年にわたり法学部における教育・研究及び管理運営など本学部の充実発展にご尽力なされ、そのご功績は計り知れないものがあります。そこで、本学部は、長年にわたる先生のご貢献に対する感謝の気持ちを多少なりとも表すために、ここに退職記念号を刊行し、惜別の念をこめて献呈することにいたします。

岩岡中正教授は、昭和四五年三月九州大学法学部を卒業後、同年四月九州大学大学院法学研究科修士課程に進学され、同四七年三月に同課程を修了された後、同年四月同大学法学部助手に採用され、昭和四八年四月から九州大学大学院法学研究科博士課程に進学され同五一年三月に同課程を単位修得退学された後、同年四月から一年間同大学法学部助手に採用されておられます。その後、ロンドン大学LSE大学院留学や日本学術振興会奨励研究員などを経て、昭和五五年一月に熊本大学法学部講師に採用され、同五六年四月に助教授、平成二年十一月に教授に昇任されるとともに大学院法学研究科の授業を担当しておられます。平成三年七月には九州大学より博士（法学）の学位を授与され、このたび定年によるご退職を迎えられるまで、実に三二年余の長きにわたって本学部のためにご貢献してこられました。この間、岩岡教授は、政治思想史担当教授として法学部、大学院法学研究科及び社会文化科学研究科で多くの学生及び大学院生の教育研究指導にあたってこられました。研究の面では、著書『ロマン主義から石牟礼道子へ——近代批判と共同性の回復』（木鐸社、二〇〇七年）、『虚子と現代』（角川書店、二〇一〇年）、編著書『時代転換期の法と政策』（成文堂、二〇〇〇年）、『「地域公共圏」の政治学』（ナカニシヤ出版、二〇〇四

年)、論文「共同性のパラダイム転換——石牟礼道子と共同性の回復」(熊本法学九七号)、「ことばと地域形成——共同性の再構築に向けて」(熊本法学一一九号)などのほか、著作目録に掲載されているように数多くの研究業績を上げてこられました。学会においては日本政治学会、政治思想学会、日本イギリス哲学会及び九州法学会会員としていづれも理事を歴任されるなど活発な活動を行ってこられました。また、大学の管理運営の面では、各種委員会委員のほか、五高記念館長、生涯学習教育研究センター長、付属図書館長、評議員、大学院社会文化科学研究科長などの要職を歴任され、社会活動の面では、「草枕」国際俳句大会実行委員会(熊本市)委員長、熊本県文化懇話会世話人、熊日文学賞(熊本日々新聞社)選考委員など多くの委員を歴任してこられました。

このように、岩岡中正教授は、長年にわたって法学部の教育、研究のみならず大学運営や社会活動においても大きな業績を残してこられました。「大学改革実行プラン」など種々の課題に対応しなければならぬこの時期に、先生をお送りしなければならぬことは法学部にとってかけがえのない損失ではありますが、先生におかれましては今後とも法学部を温かく見守っていただきますとともに益々ご壮健で過ごされることをお祈りし、これまでのご功績に対して法学部を代表して心からお御礼申し上げます。

平成二五年二月

熊本大学法学部長 山崎 広道